

図解

3種類のGMMAで  
チャートを徹底分解



マーケットの悲鳴を嗅ぎ取り  
落ちてるナイフを掴み取れ

# もくじ

はじめに・・・・・・・・・・ 7

移動平均線の見るべきポイント・・・・・・・・ 13

移動平均線のパラメーター・・・・・・・・ 16

移動平均線とローソク足の乖離・・・・・・・・ 19

移動平均線の方角性と傾き・・・・・・・・ 21

G M M Aを知る・・・・・・・・ 26

## 第1章

G M M Aとは・・・・・・・・ 27

チャートにG M M Aを入れる方法・・・・・・・・ 30

G M M Aの長所・・・・・・・・ 32

# もくじ

## 第2章

G M M Aの見るべきポイント	33
G M M Aの収束と拡散	34
ショートブレイク①	38
G M M Aを用いたチャート分析	40
G M M A重要シグナル3選	41
靴ヒモシグナル	42
靴下シグナル	47
ハイヒールシグナル	51
ショートブレイク②	54

# もくじ

## 第3章

G M M Aを用いたトレード手法・・・57

G M M A手法の概要・・・58

手法で狙う値動き・・・60

エントリー条件・・・62

利確&ロスカット条件・・・65

エントリー補足条件・・・71

チャートの形から急落を定義する・・・72

トレンド転換と急落の違いを考える・・・73

# もくじ

## 第4章

### シグナル事例集・・・ 81

マーケットの悲鳴を嗅ぎ取る・・・	75
順張りの逆張りを狙う・・・	76
損小利大の取引を目指す・・・	77

事例1 理想的なエントリー・・・	82
事例2 ショートエントリー・・・	84
事例3 負けパターンのエントリー・・・	86
事例4 GMMAXレンジ・・・	88
事例5 GMMAXレンジブレイク・・・	92

# もくじ

事例 6 GMM A クロスのだまし・・・ 95

## 第5章

あとがき・・・ 97

おわりに・・・ 98

# はじめに

移動平均線を知っていますか？

移動平均線は投資を始めた方が一番に学び、世界で一番使用されているテクニカル指標です。

きつと多くの方は、「移動平均線くらい知っているよ」  
そう、思ったと思います。

それでは少し質問を変えてみましょう。

## はじめに

なぜ、移動平均線はシンプルなのに有効なのか？

なぜ、世界中の一流投資家が移動平均線をこぞって使うのか？

なぜ、移動平均線は聖杯として長い間受け継がれてきたのか？

なぜ、移動平均線を使うとチャートが見えるようになるのか？

多くのトレーダーが移動平均線の存在を知っているも、「本当の実力」知らないまま、移動平均線を使っているのです。

# はじめに

本書では、ガンマを使いこなせるようになるために、ガンマの特徴、使い方、具体的な売買シグナルを含むトレード手法を解説しています。

ガンマは本来、移動平均線を12本集めただけのシンプルなテクニカル指標です。

そのため、ガンマを理解するためには、必然的にガンマを形作っている移動平均線というパーツの特性を理解する必要があります。

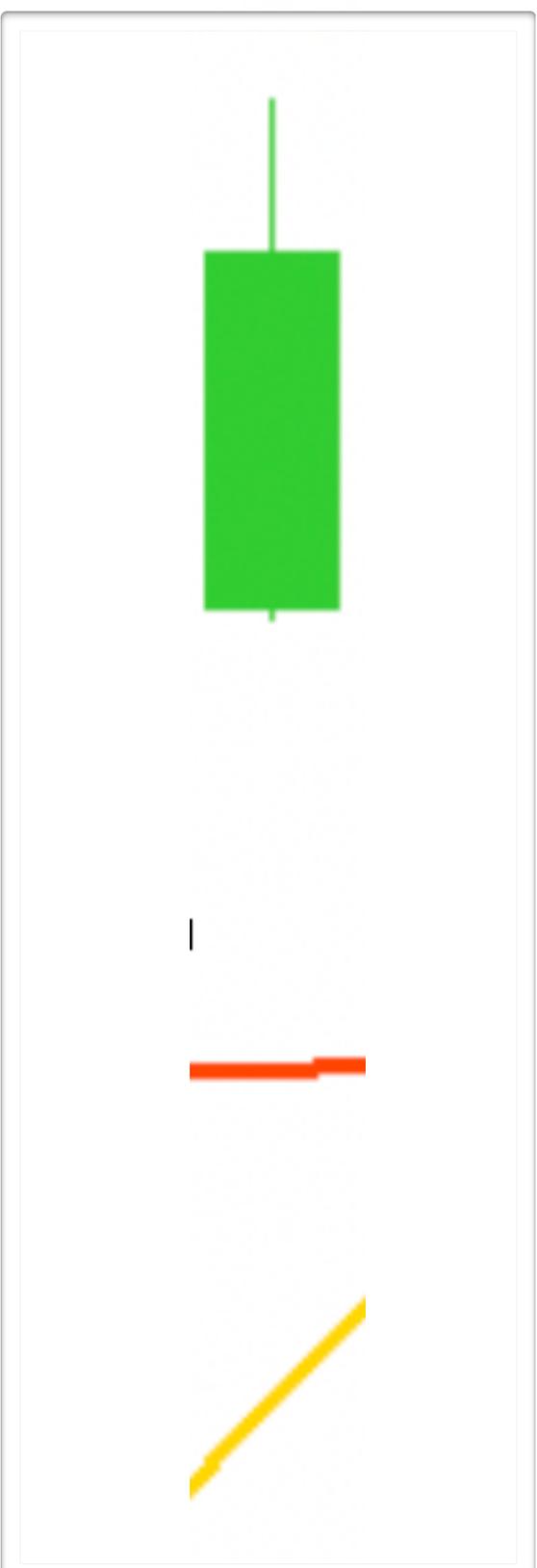
# はじめに

移動平均線の最大の特徴は

移動平均線をひとめ見ただけで相場を判断できる、

「突出した視認性の高さ」である。と私は考えています。

次のローソク足と移動平均線を見てください。



## はじめに

赤線は単純移動平均線（SMA）期間10（10本分のローソク足を基準に計算したもの）

黄線は、単純移動平均線 期間50です。

私はこの画像を見れば、

「過去ローソク足10本、ないし50本、ざっくりどんな値動きできたのか」が頭の中で描けるようになります  
信じられないかもしれませんが、あなたも方法さえ理解すれば、いずれ必ずできるようになります。



黄線が単純移動平均線（SMA） 期間10

赤線が単純移動平均線（SMA） 期間50

# 移動平均線の見るべきポイント

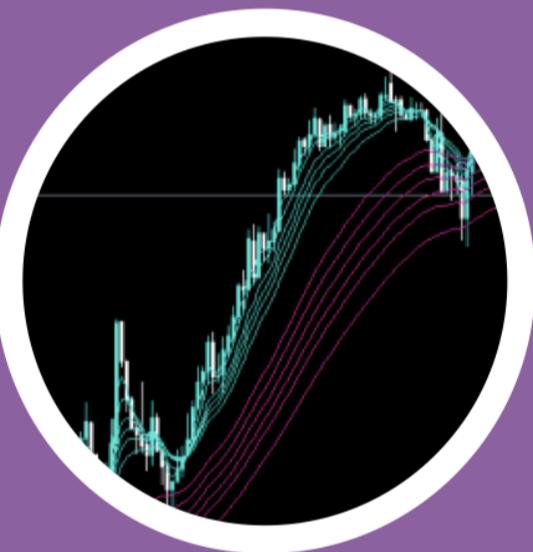
これからローソク足1本を見るだけで過去の状況がわかるようになる具体的な方法と移動平均線の見るべきポイントをお伝えします。

【移動平均線をみる3つのポイント】

- ① 移動平均線の期間
- ② 移動平均線とローソク足の距離（位置関係、乖離率）
- ③ 移動平均線がどっちの方向にどれだけ傾いているか

# 移動平均線を使いこなす 3つのポイント

① パラメーター



② 乖離率



③ 角度（方向性）



SAIKIX LINE TRADE



# ①移動平均線のパラメーター

①はシンプルですね。

単純移動平均線 期間200はローソク足の終値200本分の平均値を出しますし、期間10であれば10本分の終値の平均値を出します。

「過去何本分のローソク足を算出しているか」をみて、短期的な状況、中期的な状況、長期的な状況がそれぞれどうなっているのかを判断することができます。

算出期間によって、指し示す内容が代わり、移動平均線を直接的に使った手法の場合には、わずかなパラメーターの違いが最終的な損益に大きく影響をあたえることもあります。

## ① 移動平均線のパラメーター

例えば、パーフェクトオーダーという3本のパラメーターの異なる移動平均線が上向きかつ、上から短期↓中期↓長期の順番に揃ったときをトレンドが明確に出ていくサインとみなし、順張りエントリーをするという手法があります。

(※上昇トレンドの場合。下降トレンドの場合は、3本とも下向きかつ上から長期↓中期↓短期の順番。)

この手法では、使用する短期移動平均線の期間が10なのか11を採用するのかでエントリータイミングが早くなったり遅くなる場合があります。利確損切りも同様です。

## ①移動平均線のパラメーター

トレンドフォローでしばらく持つ場合は、そこまで1取引あたりのパフォーマンスに影響を与えないかもしれません。取引を重ねていく上では大きな差を与えます。

スキャルピングのようなローソク足数本の値動きを狙う取引スタイル場合は、売買シグナルがローソク足1本早くなるか、遅くなるかだけでも大きく結果が変わってしまふことは容易に想像できるでしょう。

移動平均線のパラメーターを「サイトによっていたから」「みんなつかっているから」という理由で、なんとなく決めるのは注意が必要です。

## ② 移動平均線とローソク足の乖離

移動平均線がローソク足からどれだけ離れているかをみることで、過去の一定期間に対してどの水準にいるのかがわかります。

移動平均線とローソク足の距離が離れていればいるほど「算出期間の平均から突出した数値を出していること」を表します。

つまり、単純移動平均線期間10をみたときに、移動平均線から大きく上に離れていれば、10本の平均の中でも、かなり高い位置に現在価格があり、近い場合には、平均に近い、過去10本の平均の中で中間位置にいますということが想像できます。逆もまたしかりです。



ローソク足10本分

ローソク足50本分

MA10とローソク足が大きく上に乖離している  
= 直近価格は強い上昇傾向である

MA10とローソク足が大きく上に乖離している  
= 直近価格は上昇傾向である

### ③ 移動平均線の方角性と傾き

移動平均線が上向きなのか、下向きなのかを見ることで、期間内の相場が上昇相場、下降相場なのかわかります。

パラメーターの異なる複数の移動平均線を組み合わせて移動平均線の方角性をみることで、より精度の高い推測を行うことができます。

一例として「長期移動平均線には上向きだが、短期移動平均線には下向きである。このことから、押し目形成中、もしくはトレンドが終焉に向かっている可能性がある」という推測を行うことができます。

### ③ 移動平均線の方向性と傾き

また移動平均線の傾き（角度）が急で、傾いていなければならないほど、前の流れから平均価格自体が大きく変動していることを表しますから、強いトレンドが発生していることがわかります。

逆に、緩やかでほとんど傾きがない場合には、平均価格がほとんど変動していないことから、強いトレンドは発生しておらず、レンジのような近い値動きをしていることが推測できます。

最後におさらいとして、ローソク足1本を見るだけで過去の状況がわかるようになるための手順をイラストにかいておきますから、ご紹介した3つのポイントを踏まえ、てみてみてください。



ロック足10本分

ロック足50本分

10MAは傾きが急で上向いている  
= 平均価格自体が大きく上昇しており、  
角度のついた右肩あがり上昇相場である

50MAは水平に近い形である  
= 平均価格には大きな変動がなかった。



- ①MAの期間はいくつか
- ②ローソク足からどれくらい離れているか
- ③上向きか、下向きか

copyright 2021 by Sakix. All rights reserved.

# 移動平均線の見るべきポイント

この3つのポイントを抑えて、練習を積むことで、次第にローソク足1本分の移動平均線を見れば、チャート全体を瞬時に把握できるようになるでしょう。

ガンマを形作るパーツである移動平均線の凄さをわかっていただいた上で、本書のメイントピックであるガンマの解説に入っていきます。

# 第1章

## GMMAを知る



# G M M Aとは

G M M A（ガンマ）とは、6本の移動平均線×2セット合計12本の移動平均線から成り立つトレンド型テクニカル指標です。

複数の移動平均線をバンドとして捉え、大きさや広がり方からトレンドの確認、順張り戦略、押し目の算出にしばしば使われます。

正式名称は開発者Daryl Guppy氏の名前を取った“Guppy Multi Moving Average”で、それぞれの頭文字を取っています。日本語だと複合型移動平均線と言われます。

# GMMAとは



GMMAとは…

EMA3～15までの6本から成り立つ短期GMMAと  
EMA30～60までの6本から成り立つ長期GMMAの  
合計12本から成り立つ移動平均線の束

# G M M Aとは

移動平均線のパラメーターが短い組を短期G M M A、パラメーターが長い組を長期G M M Aと呼ばれます。具体的なパラメーターは以下の通りです。

## 短期G M M Aの内訳

∴ E M A 3・5・8・10・12・15

## 長期G M M Aの内訳

∴ E M A 30・35・40・45・50・60

## チャートにGMMMAを入れる方法

GMMMAはお使いのチャート業者によつて最初から標準搭載されているチャートソフトとそうでないチャートソフトがございます。

例えば、世界シェアNo.1チャートソフト「MT4」(エムティーフォー)ではガンマは初期搭載されていません。

入っていない場合、ガンマというインジケータは短期ガンマと長期ガンマで6本ずつ、合計12本のEMAを束ねたものなので、前述のパラメーターをもとに個別に1本ずつ設定をして12本のEMAを入れていただくことができます。

# チャートにGMMMAを入れる方法

ただあまりに面倒かと思えますので、

「MT4」で使えるGMMMAのインジケータを開発し、無料配布しています。

お配りしているGMMMAはプログラマーで筆者自らが開発しているため、完全日本語対応です。もしバグや「こんな機能が欲しい」等あれば直接ご連絡くださいね。

GMMMAのダウンロードページのURL

…<https://www.gogojungle.co.jp/tools/indicators/22882>

ボタンからワンクリックでGMMMAオンオフできる

GMMMAのダウンロードページのURL

…<https://www.gogojungle.co.jp/tools/indicators/32737>

# G M M A の長所

ガンマの長所は、

- ・トレンドの強弱をパッと判断できるところ
- ・逆張りに適した相場を教えてくれる
- ・チャートの局面の切り替わりがすぐわかる
- ・押し目の判断が行いやすくなる

などなど様々なものがありますが、

ガンマの魅力を一言で表すなら「優れた相場環境認識機能」です。

冒頭で移動平均線の魅力を前述しましたが、複数の移動平均線を組み合わせたことによって、より移動平均線的能力が強化されたのがガンマだと認識してください。

# GMMMAの見るべきポイント

前書き部分で移動平均線を見る上では①期間、②位置関係、③傾きの3つのポイントだけ抑えれば良いという話をしました。

ガンマを見る上では、ガンマは、パラメーターが固定のため、期間については気にする必要はありませんが、位置関係と傾きに加え、代わりにガンマにしかない特性である「拡散と収束」を見る必要があります。

【ガンマを見る上での3つのポイント】

- ①位置関係
- ②方向性（傾き）
- ③拡散と収束

# G M M A の拡散と収束

G M M A にしかない拡散と収束ですが、拡散と収束こそが優れた相場環境認識を生み出してくれます。

G M M A が拡散する理由は、強い値動きが発生した際に、G M M A の中でも短期のパラメータの M A は早く対応できるのに対し、長期のものは遅れて反応することです。計算結果に差が生まれるからです。

強いトレンド相場のような激しい値動きがおこればおこるほど、計算結果に違いが生まれやすくなり、拡散が起こりやすくなります。

# G M M A の拡散と収束

長期 G M M A が拡散していればしているほど、トレンドが長く続いていることを表します。拡散している時期が一番強くトレンドが出ていて、抵抗帯となり、順張りを狙うべき相場となります。

長期 G M M A の収束は、長期トレンドの終わりを示唆します。

# G M M A の拡散と収束

短期 G M M A の場合には、短期 G M M A で採用されている E M A は 3 と 15 と期間は短いことで直近の価格変動への反応率が高く、計算結果に違いが生まれやすいことから、長期 G M M A と比べて拡散が発生しやすく、拡散している方がデフォルトになります。

ただその中でも、特段と拡散しやすいのは、急騰急落、短期トレンドが発生した直後となります。

逆に、ただでさえ拡散されやすい短期 G M M A の中で、短期 G M M A の収束は、ほとんど方向感がないとき、レンジの中でもボラが低いときに起こります。

# G M M A の拡散と収束

## 【ガンマの拡散&収束まとめ】

長期 G M M A の拡散 ・ ・ ・ 強いトレンドの発生

長期 G M M A の収束 ・ ・ ・ トレンドの終わりを示唆

短期 G M M A の拡散 ・ ・ ・ 急騰、短期トレンド発生直後

短期 G M M A の収束 ・ ・ ・ 停滞していて、ほとんど方向

感がない状態

ショートブレイク　　↳長期GMMMAは長期ではない?↳

長期ガンマは最短で期間30、最長で期間60の6本のEMAから成り立っています。

本来、長期移動平均線というのは最低でも100、200以上の期間から長期移動平均線と呼びます。

長期ガンマで採用されているパラメーターは、一般的に長期移動平均線とは見なされず、「中期移動平均線」くらいに分類される期間です。

長期ガンマで最も期間が長いEMA60さえも、一般的にスキャルピングや比較的短いスパンのトレード分析に使用される移動平均線です。

ショートブレイク　　↳長期GMMMAは長期ではない？　　↳

移動平均線には期間によって得意不得意があります。

中期移動平均線（EMA30↳60）は、相場の短期的な反発を掴んだり、変化の予兆を掴むには、向いている一方で、相場全体の過熱感、節目などを分析するには向きません。

長期GMMMAという名前であっても、実際には、GMMMAは短期EMA群と中期EMA群から成り立つインジケータールということをお忘れなくしましょう。

## 第2章

# GMMMAを使って チャートを見る



# G M M A 重要シグナル3選

ガンマを使ったチャート分析は常に位置関係、方向性（傾き）、拡散と拡散の3つのポイントに着目して行う必要があります。

3つのポイントを軸にガンマの重要なパターンをご紹介していきます。

## 【重要なG M M Aシグナル】

- ① 靴ヒモシグナル（保ち合い）
- ② 靴下シグナル（トレンド転換）
- ③ ハイヒールシグナル（急落型）

# 靴ヒモシグナル



短期GMMAと長期GMMAともに収束し、  
角度が緩やかな状態

	長期GMMA	短期GMMA
位置関係	交互	交互
傾き	ほぼない	ほぼない
拡散収束	収束	収束

## ① 靴ヒモシグナル

靴紐シグナルは、短期GMM A、長期GMM Aともに傾きがなく、収束している。かつクロスが頻繁に発生している状態です。

### 【特徴】

- ボックスレンジ相場が発生していることが多い
- オシレーターを用いた逆張りエントリー向いている
- トレンドフォロー型の手法は新規ポジションをとるべきでない
- 将来的な大きなトレンド発生の示唆となる

## ① 靴ヒモシグナル

靴ヒモシグナルは、ボラテイリティ（変動幅）が安定していて、方向感がでていないことをあらわします。

また同時に、上限と下限の同一価格帯なんども反発し、交互に行き合うボックスレンジが形成されていることが多いです。

靴ヒモシグナルが出ている相場はRSI、ストキャステイクスのようなオシレーターの有効性が高いです。

特に逆張り手法で、どちらかというえば勝率重視で細かい値動き値動きをとっていくようなスキャルピングに適している相場です。

## ① 靴ヒモシングナル

逆にトレンドフォローを狙った手法はダメシにあいやすい、利小損大になりやすいので避けたほうがよいでしょう。

すでに前の段階でトレンドフォローのポジションをもっているのであれば、利確してしまうか、持ち続ける場合には、レンジ下限（帯が形成されているなかでの最安値）の少し下あたり逆指値をいれて自分のポジションと逆反対にブレイクしたとしても利益を確保できている状態にしておきましょう。

## ① 靴ヒモシグナル

パターン①が発生したときに今後起こりうる可能性としては、大きなトレンドの発生を示唆します。

止まらずに動き続けるトレンドというのは、ありません。トレンドというのは、新規エントリーだけでなく、損失をかかえていた人の損切りを巻き込こんで上昇することと同時に、ロングを持っていた人も必ずロングの利確（＝売り注文）をおこなうからです。

# 靴下シグナル



短期GMMAと長期GMMAともに収束し、  
角度が緩やかな状態

	長期GMMA	短期GMMA
位置関係	上	下
傾き	下向き	下向き
拡散収束	収束	収束

## ② 靴下シグナル

靴下シグナルは、短期GMM Aの長期GMM Aが収束されたまま、デッドクロスが発生した状態です。

### 【特徴】

- ・調整局面への突入した可能性
- ・トレンド転換の可能性を示唆
- ・トレンドの弱まりを示唆
- ・トレンドフォロー型の手法は新規ポジションをとるべきでない
- ・将来的な大きなトレンド発生の示唆となる

## ② 靴下シグナル

靴下シグナルの最大の特徴は「トレンドの弱まり」を示しているという点です。

ガンマを使った手法で、この短期ガンマと長期ガンマのゴールデンクロスをみて売買することが推奨されているものをチラホラ書籍やネットなどで散見しますが、ここでエントリーすると大抵痛い目を見ます。

なぜならば、

「トレンドの弱まり」次のトレンドの始まり」だから。

## ② 靴下シングナル

上昇トレンドが終わった後にはそのまま下降トレンドにトレンド転換することもあるれば、レンジを一定期間おこなってから、下降トレンドになったり、上昇を繰り返す場合もあります。

「トレンド転換＝次のトレンドの始まり」と思っている人が多いですが、そうではないのです。

トレンド転換後に、トレンドが綺麗に始まれば、トレンド転換のロジックは毎回勝てますが、実際には違うパターンも多いので、単純なガンマのクロスだけをみるとダマシにあってしまうということになります。

# ハイヒールシグナル



	長期GMMA	短期GMMA
位置関係	上	下
傾き	ゆるやか	強い下向き
拡散収束	拡散	収束

### ③ ハイヒールシグナル

ハイヒールシグナルは、収束状態の短期GMMMAが拡散状態の長期GMMMAを力強くブレイクした状態です。  
(デットクロス)

#### 【特徴】

- ・強い急落の発生
- ・パニック相場である可能性を示唆
- ・オシレーターを用いた逆張りエントリー向いている
- ・どこかでリバウンドが発生する可能性が高い

### ③ ハイヒールシグナル

拡散状態のGMM Aを厚い壁を突き破るほどの急騰急落が発生したということを表します。

急騰急落が発生した後は、リバウンドがどこかで入る可能性が非常にたかい。

本書では、このハイヒールシグナルを使った手法を解説していきます。（次章へつづく）

## ショートブレイク ～GMMMAのシグナルの由来～

本書を執筆をはじめてから完成するまでに2ヶ月弱がかかっています。

編集者もデザイナーもいないので、1人でじっくり細部までこだわって、表紙のデザインや構成なども素人なりに何度も作り直して納得のいくものをつくっています。

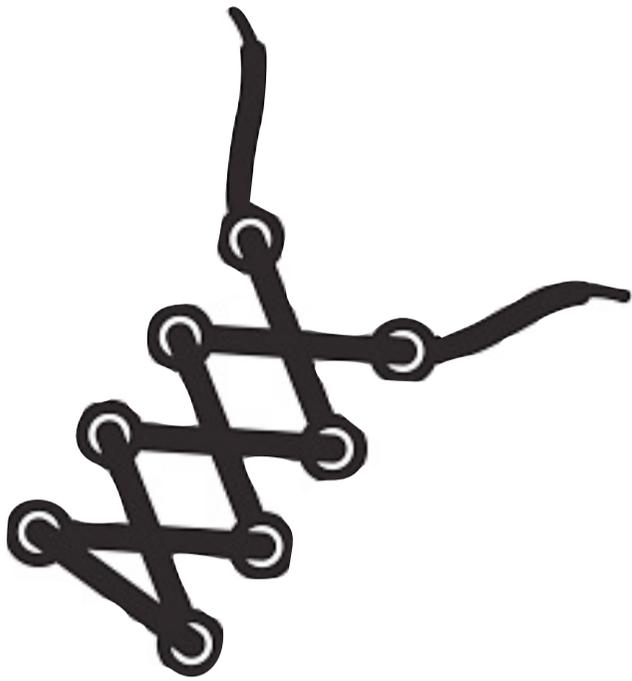
付随して、どうせなら覚えてもらえるよう本書の目玉でもあるGMMMAシグナルにキャッチーな名前をつけようと思いついたのですが、思い立ってから1ヶ月が経過するも、全然思いつきませんでした。

## ショートブレイク ～GMMMAのシグナルの由来～

そうして煮詰まっていた頃、事務所（トレードルーム）で寝ていたら、コツコツとした音が聞こえてきて、なんだろうと思っただけ目を覚ましたら、妻が履いていたハイヒールの足音だったのです。

そうしてパツと「ハイヒールシグナル」という名前を思いつき、そこから派生して靴紐シグナル、靴下シグナルと名付けました。

ハイヒール以外の後の2つは個人的にこじつけだと思っています。



### ①靴ヒモシグナル

長期ガンマと短期ガンマが絡み合ってる感じが靴ひもっぽい  
(こじつけ度30)



### ②靴下シグナル

ゆるやかにガンマの向きが反転するところが90度傾けた靴下っぽい  
(こじつけ度100)



### ③ハイヒールシグナル

上昇して急落し、再上昇するまでの流れがハイヒールっぽい  
(本人納得のこじつけ度0)

## 第3章

# GMMAを用いた トレード手法



# G M M A手法の概要

急落を示すハイヒールシグナルを応用した

G M M Aと値幅を組み合わせた使ったトレード手法を解説していきます。

前提として、トレンド相場には初動、安定期、終焉の3つの段階があります。

今回の手法では、狙う値動きとしては、トレンド中盤（トレンドの終焉にかけてのショートカバーの利確の値動き）をとりまします。

# トレンド相場の段階

SAIKIX LINE TRADE

## 初動

バイナリーなら  
捨てるべき

## 安定

余力を考えて  
選択すべき

## 終焉

妥当な終焉  
であるのか  
を考えるべき

トレンド相場には3つの段階があり、それぞれ最適なエントリーが異なる

# 手法で狙う値動き

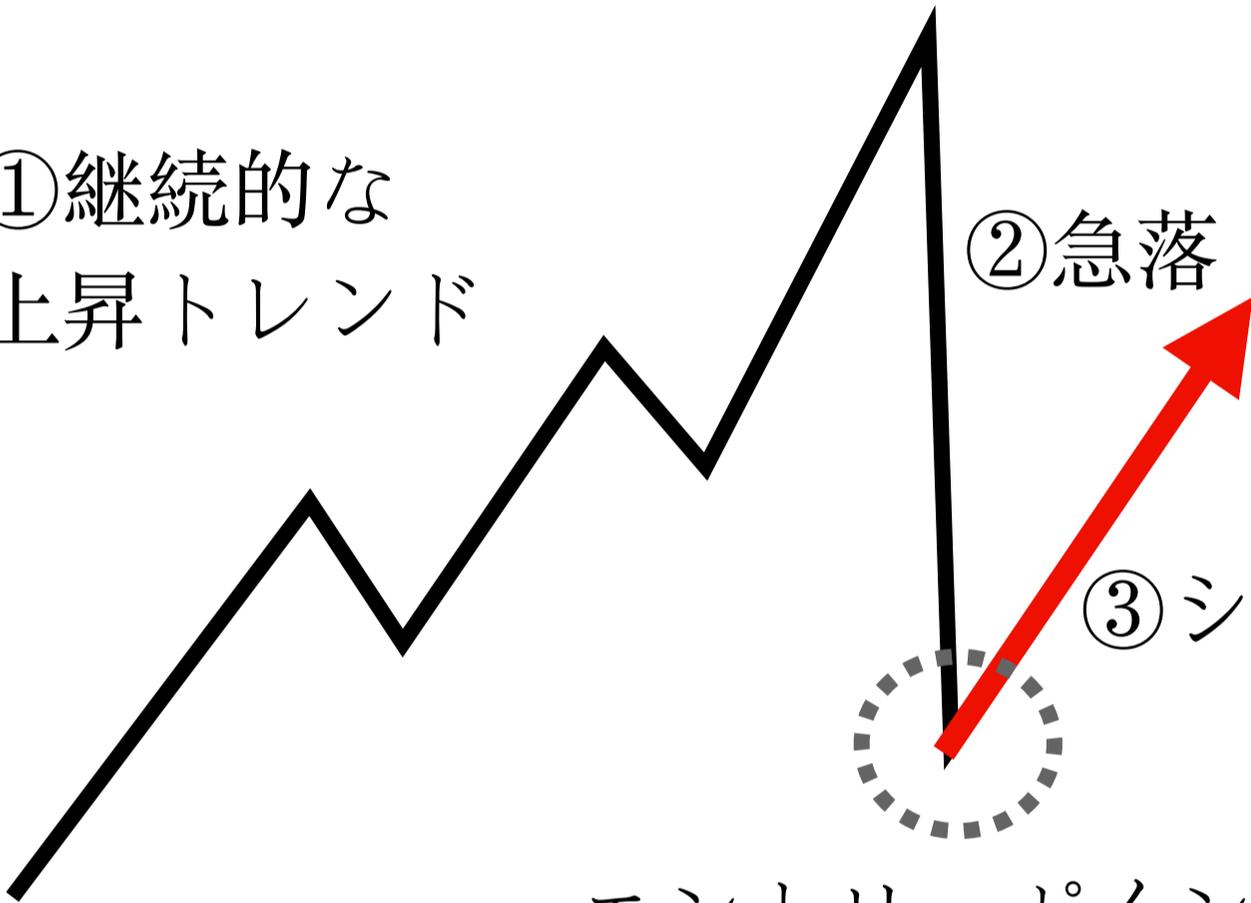
① 継続的な  
上昇トレンド

② 急落

③ ショート  
カバー



エントリーポイント



① 継続的な  
上昇トレンド

② 急落

③ ショート  
カバー

狙いたい値動き

手法で狙う値動き



ハイヒールのように見える。。。。

# エントリー条件

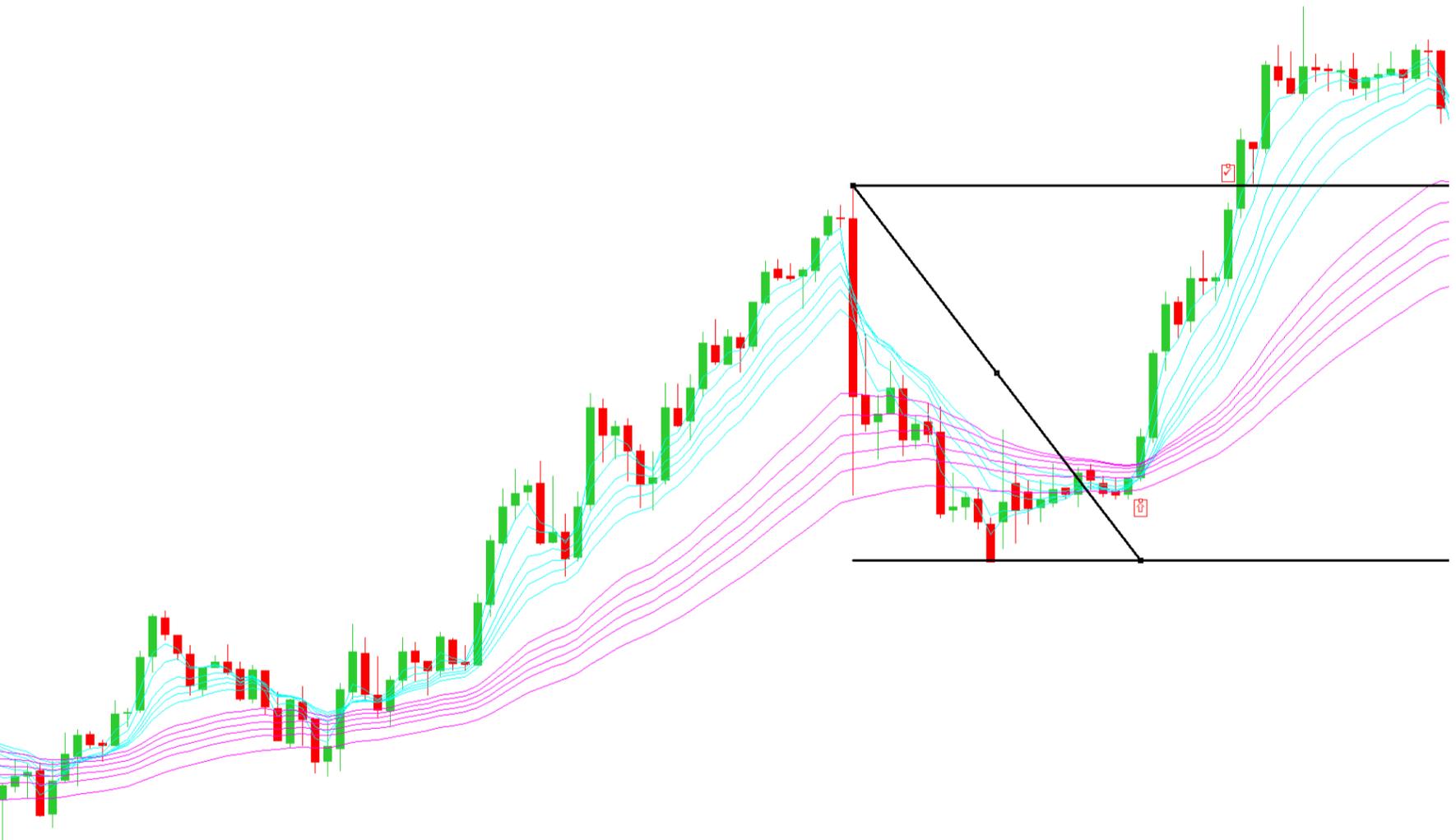
いよいよ具体的なエントリー条件に入っていきます。

## 【エントリー条件】

- ① 持続的な上昇トレンドを確認
- ② 急落が発生し、拡散状態の長期GMMMAに対して、短期GMMMAがデッドクロスし、抜け切ったことを確認
- ③ 再度、ローソク足が長期GMMMAを上抜け
- ④ 上抜けしたローソクが確定足になったら足代わりでエントリー

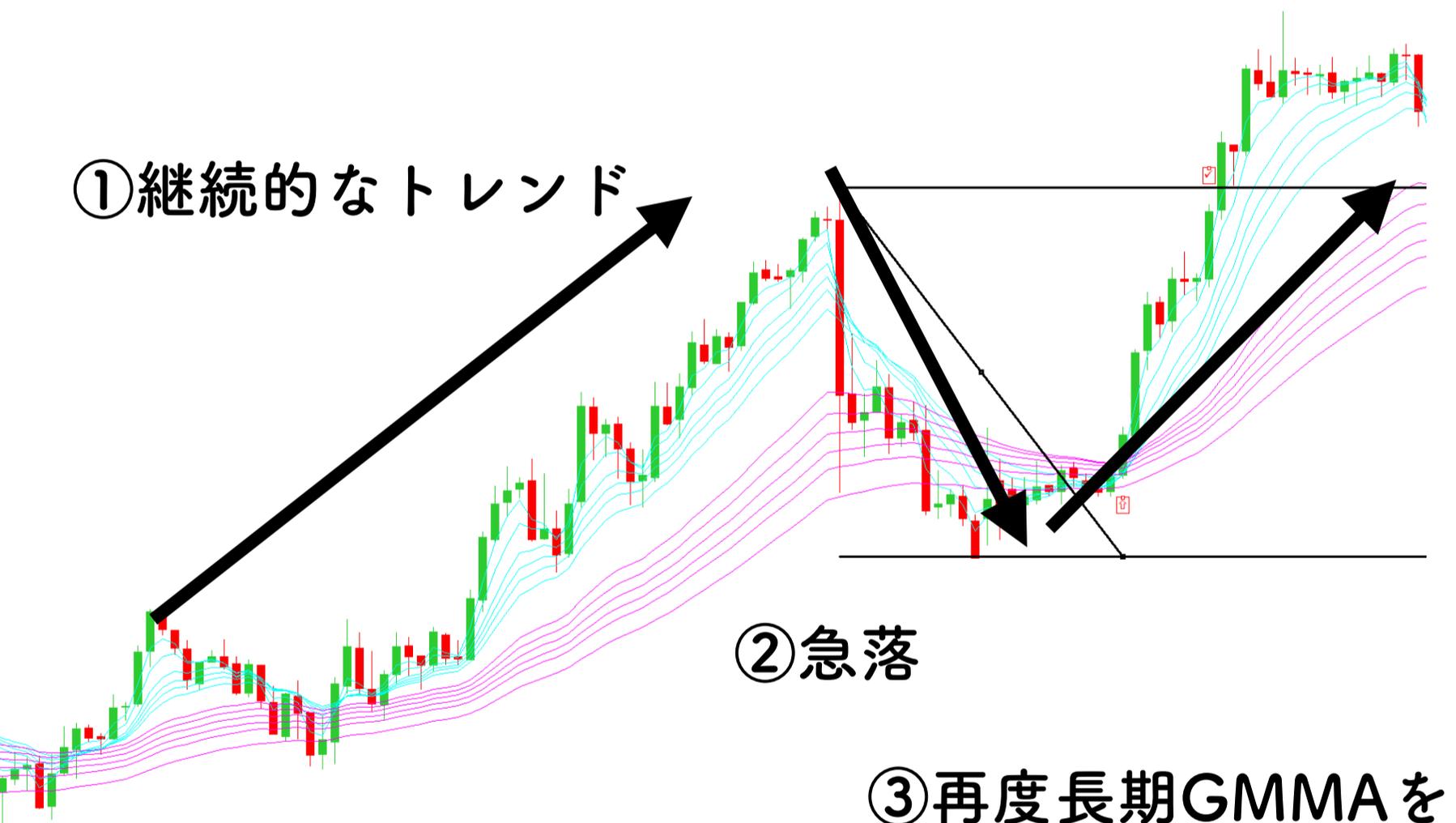
(※ロングエントリーの場合)

# エントリー条件



上矢印がエントリーポイント  
チェックマークが利確ポイント  
(次ページに解説あり)

エントリー条件



① 継続的なトレンド

② 急落

③ 再度長期GMMAを  
上抜け

④ 上抜け確定後、足代わりで  
ロングエントリー

# 利確&ロスカット条件

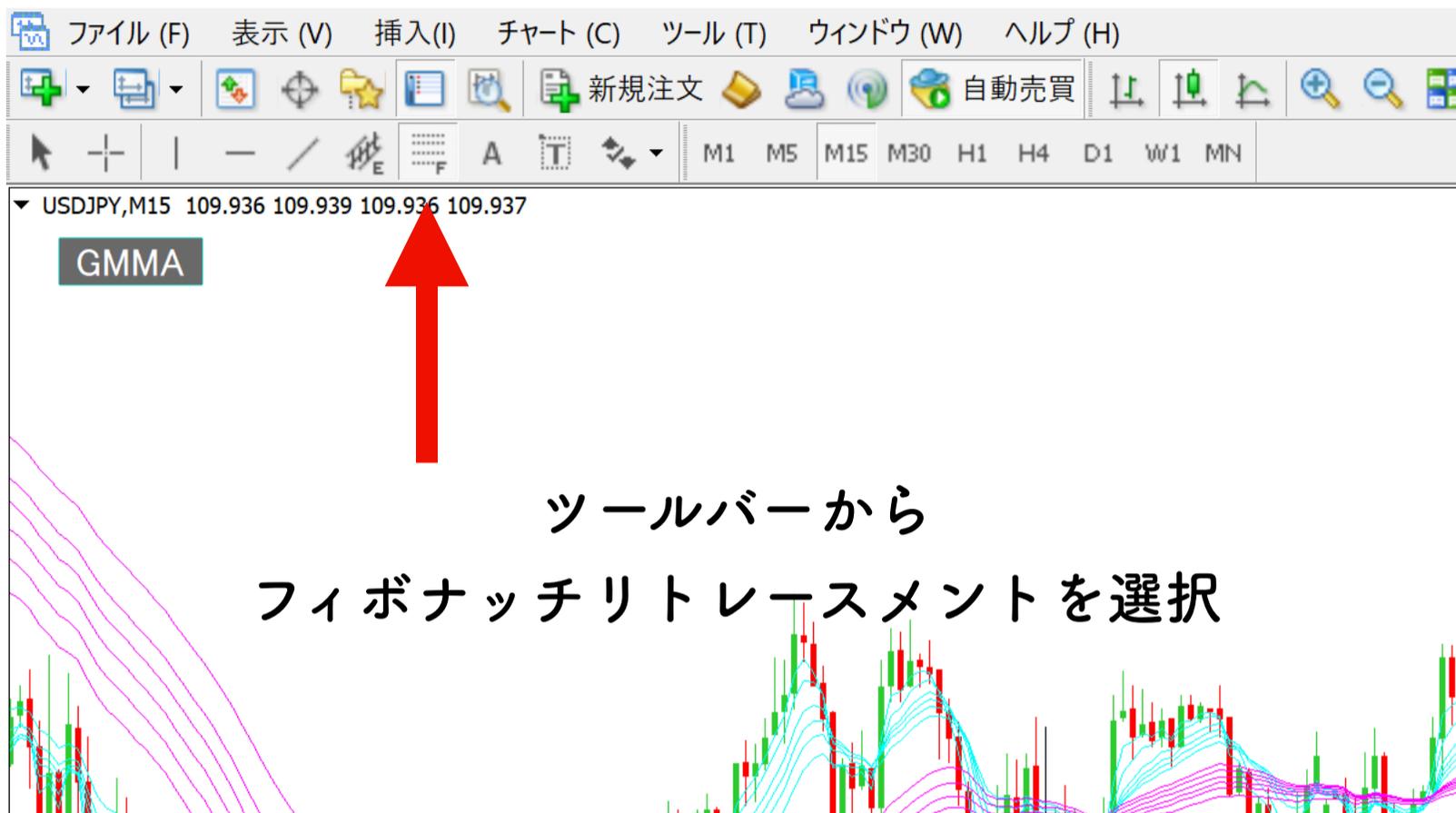
本書では、利確ポイントと損切りポイントに印をつけるため、ファイボナッチリトレースメントという描画ツールを使用します。

エントリー条件には直接的に関係ないため、使用せずに水平ラインで印をつけていただいても構いませんが、説明では使用する前提で解説します。

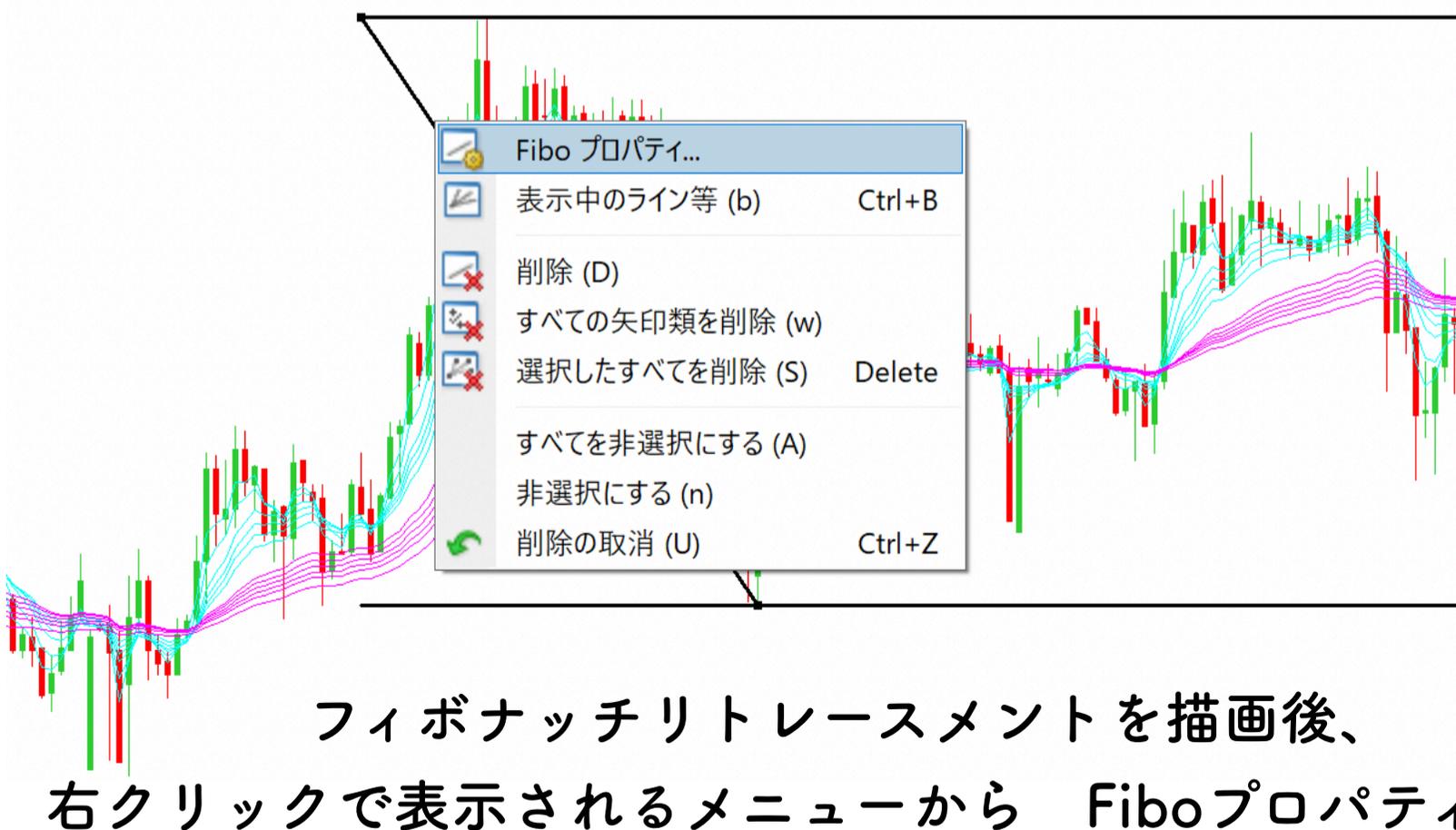
# 利確&ロスカット条件

【フィボナッチリトレースメントのカスタム手順】

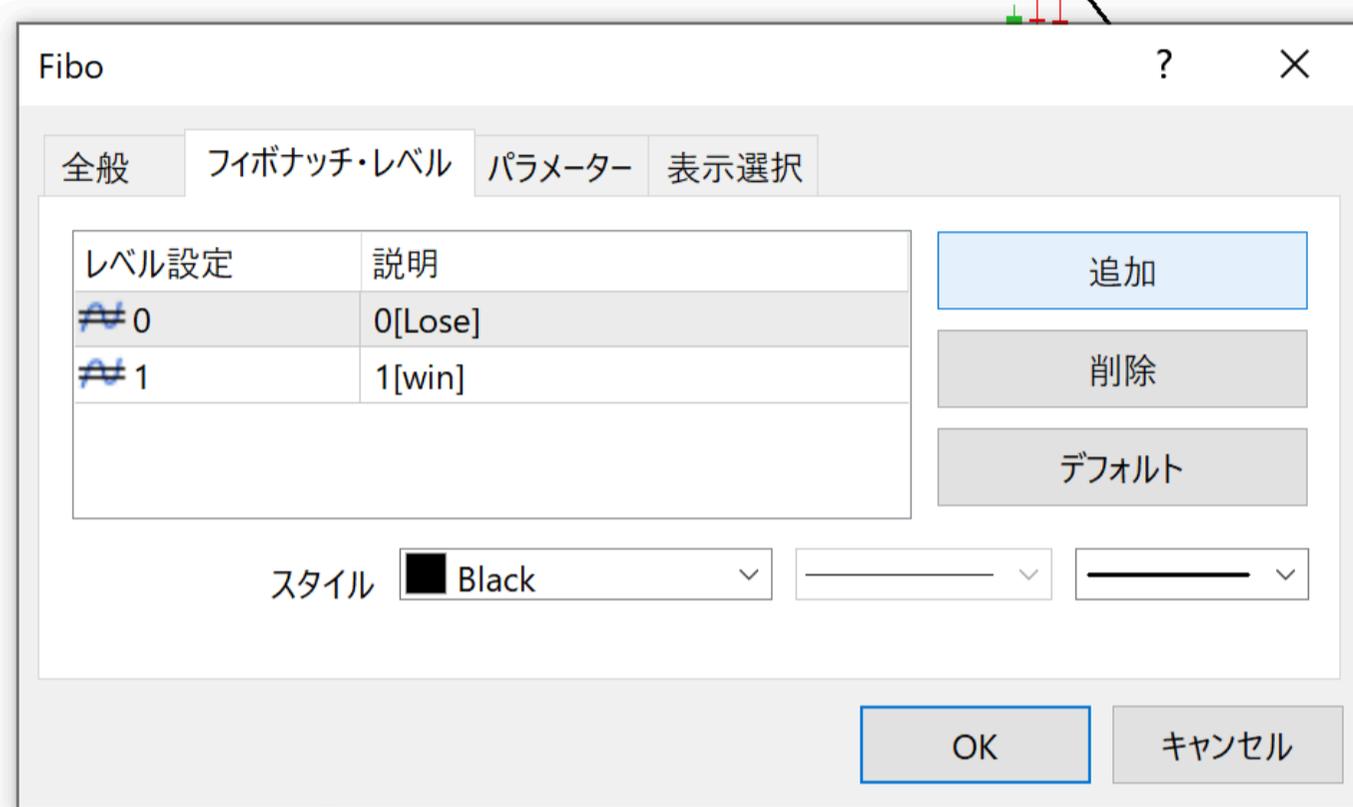
- ① MT4チャートを開く
- ② フィボナッチリトレースメントをチャートに引く
- ③ フィボナッチリトレースメントをダブルクリックした上で右クリックを行う
- ④ フィボプロパティを選択
- ⑤ 既存のパラメーターをすべて削除
- ⑥ 次ページの画像の通りにパラメーターをカスタム



# 利確&ロスカット条件



# 利確&ロスカット条件



デフォルトの設定をすべて削除し、  
レベル設定 0      説明 1[Win]  
レベル設定 1      説明 0.0[Lose]  
で設定する

(説明のところは表記が変わるだけでロジックには無関係ため、お好きなようにしていただいて構いません。)

# 利確&ロスカット条件

利確と損切りには、急落の起点からエントリー時点での最安値を利用します。（引き方については後ページにて解説）

## 【利確ポイント】

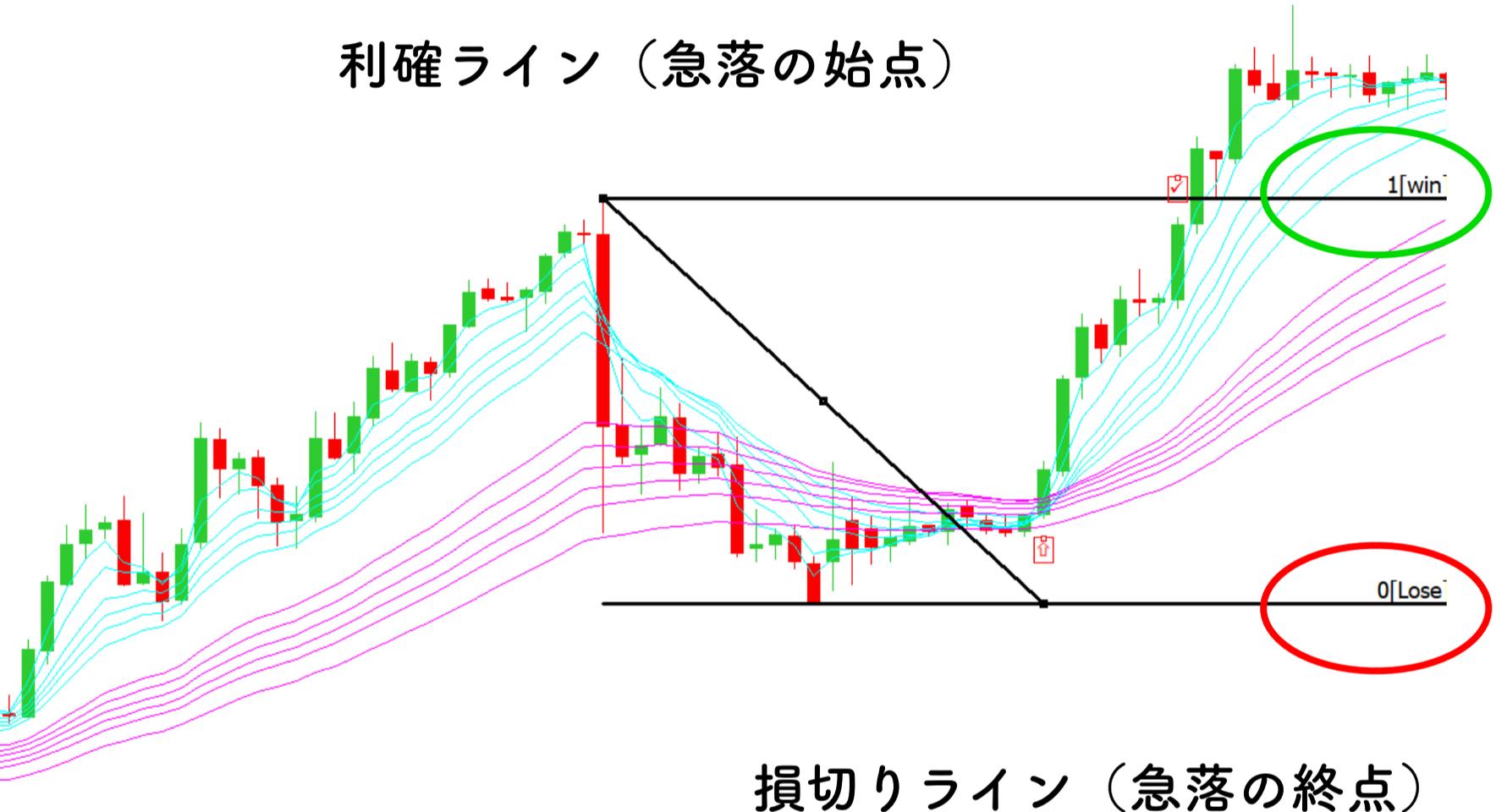
急落の起点となる最高値（1ライン）

## 【損切りポイント】

急落の終点となる最安値（0ライン）

# 利確&ロスカット条件

利確ライン（急落の始点）



損切りライン（急落の終点）

# エントリー補足条件

エントリー条件と合わせて、補足となる条件を個別にお伝えしていきます。補足条件を満たさなかった場合にはエントリーを見送ります。

## 【エントリー補足条件】

- 1、急落時に短期GMMMAが長期GMMMAを完全に抜き切っていること（デッドクロスしきっている）
- 2、長期GMMMA上でもみ合いがないこと
- 3、上昇している時間よりも下降時間が少ないこと（緩やかな上昇に対しての急落）
- 4、急落の下げ止まりが、上昇トレンドの始点より高い位置であること
- 5、リスクワード1対1で以上であること

## チャートの形から急落を定義する

1、急落時に短期GMMMAが長期GMMMAを完全に抜き切っていること（デッドクロスしきっている）

当手法では、急落を強さを測る指標として、長期GMMMAを採用しています。

より短期間での急落を明確に確認できる必要があるため、長期GMMMAのすべての移動平均線の帯をローソク足が確定足ベースで抜け切ったことを確認できた場合にのみエントリーとしています。

# トレンド転換と急落の違いを考える

2、 長期G M M A上でもみ合いがないことは、これもポイント①同様、当手法は短期間に明確な急落があったこと前提の手法のため、綺麗に直下した場合にのみエントリーとしています。

もみあいの定義としては、拡散されたG M M Aを短期G M M Aが抜け切るまでに、陽線の数が陰線の数の40%以上あること、過去10本のローソク足の平均値幅以上の陽線が形成されていることとなります。

(※ロングの場合のエントリー除外要件)

トレンド転換と急落の違いを考える



長期GMMA上でもみあいが発生している

## マーケットの悲鳴を嗅ぎ取る

3、上昇時間よりも下降時間が少ないこと

(※ロングエントリーの場合。ショートの場合は下降時間よりも上昇時間のほうが少ないことが条件)

当手法は、緩やかな上昇に対しての急落、そこからショートカバーを狙うため、上昇よりも下降時間が短いことが必須となります。

逆に上昇時間に対して、下降時間が同じ、もしくはそれ以上かかっているようであれば、それは急落とは呼べないため、エントリー対象外となります。

## 順張りの逆張りを狙う

4、急落の下げ止まりが、上昇トレンドの始点より高い位置であること

当手法はを狙った「順張りの逆張り」となります。

順張りの逆張りとは、「大きな流れには順張りであるが、短期的には逆張りである」という状態を指します。

急落によって、上昇トレンドが始まった箇所を完全にブレイクした場合は、順張りする予定だった上昇圧力が完全に否定されているため、大きな流れに対しての順張りではなくするため、エントリー対象外となり、必ず下げ止まった箇所が上昇トレンドの最中である必要があります。

## 損小利大の取引を目指す

5、 リスクリワード1対1以上であること  
当手法はリスクリワード1対1以上を狙った利大損小を目指す手法です。

リスクリワードとは、一回のロスカット幅に対しての利確の幅です。当手法の場合には、損失額よりも利確幅の方が大きいというのが前提のため、エントリー時点でリスクリワードが1対1以上でない相場の場合にはエントリーを行いません。

私が相場の世界に入ってしみじみ感じていることがあります。

## 損小利大の取引を目指す

それは、「長期的に勝てる手法というのは勝率40%〜60%の間に収束する」ということ。

勝率が高くてリスクリワードが悪い手法は、コツコツドカンのドロウダウン率、すなわち、資金が枯渇する可能性が高くなりやすい。

勝率が低くて利幅が大きい手法は、しばらくはうまくいく可能性が高いが、相場に傾向の変化して、その手法が相場に通用しなくなった時に、たまたま一時的に勝率が低いだけなのか、手法が通用しなくなったのかが見分けがつきづらいため、私は好んでいません。

# 損小利大の取引を目指す

逆に、勝率が極端に低くて利幅が大きい手法は、しばらくはうまくいく可能性が高いが、相場に傾向の変化して、その手法が相場に通用しなくなった時に、たまたま確率論の問題で、一時的に勝率が低いだけなのか、手法が通用しなくなったのかが見分けがつきづらいため、私は好んでいません。

勝率が高すぎても低すぎてもよくなり、勝率40%〜60%レンジの中でどれだけ高いリスクリワードを保てるかというのが課題になってきます。

# ショートの場合のエントリー条件

第3章では、ロングエントリーを前提として解説していたので、ショートの場合のエントリー条件も記載しておきます。

## 【エントリー条件】

- ① 持続的な下降トレンドを確認
- ② 急騰が発生し、拡散状態の長期GMMMAに対して、短期GMMMAがゴールデンクロスし、抜け切ったことを確認

- ③ 再度、ローソク足が長期GMMMAを下抜け
- ④ 下抜けしたローソクが確定足になったら

足代わりでエントリー

# 第4章

## シグナル事例集



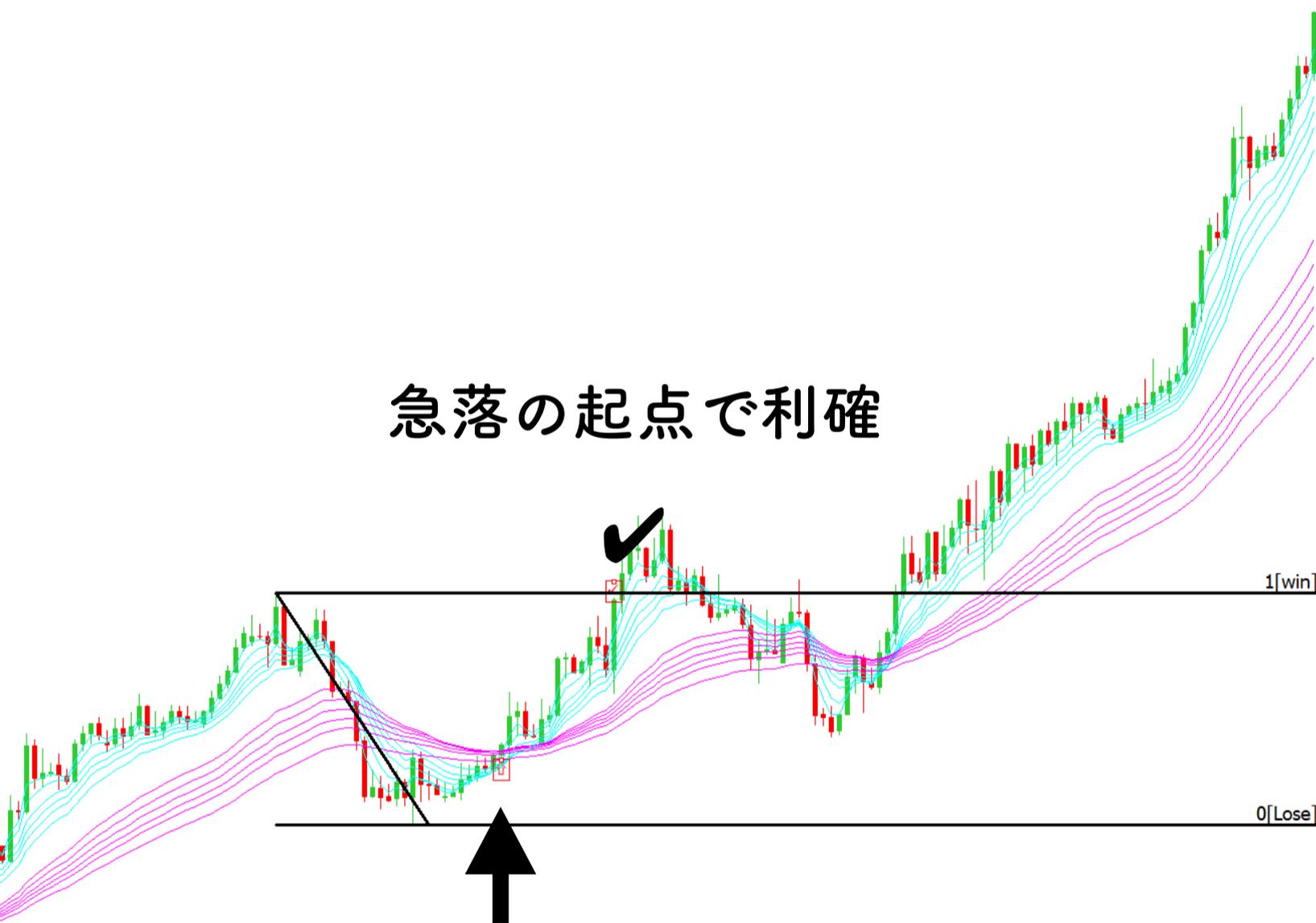
# 事例1

理想的なエントリーポイント  
USD/JPY 4時間足2021年2月上旬



## 拡大版





急落の起点で利確

急落→戻し確定でエントリー

事例①

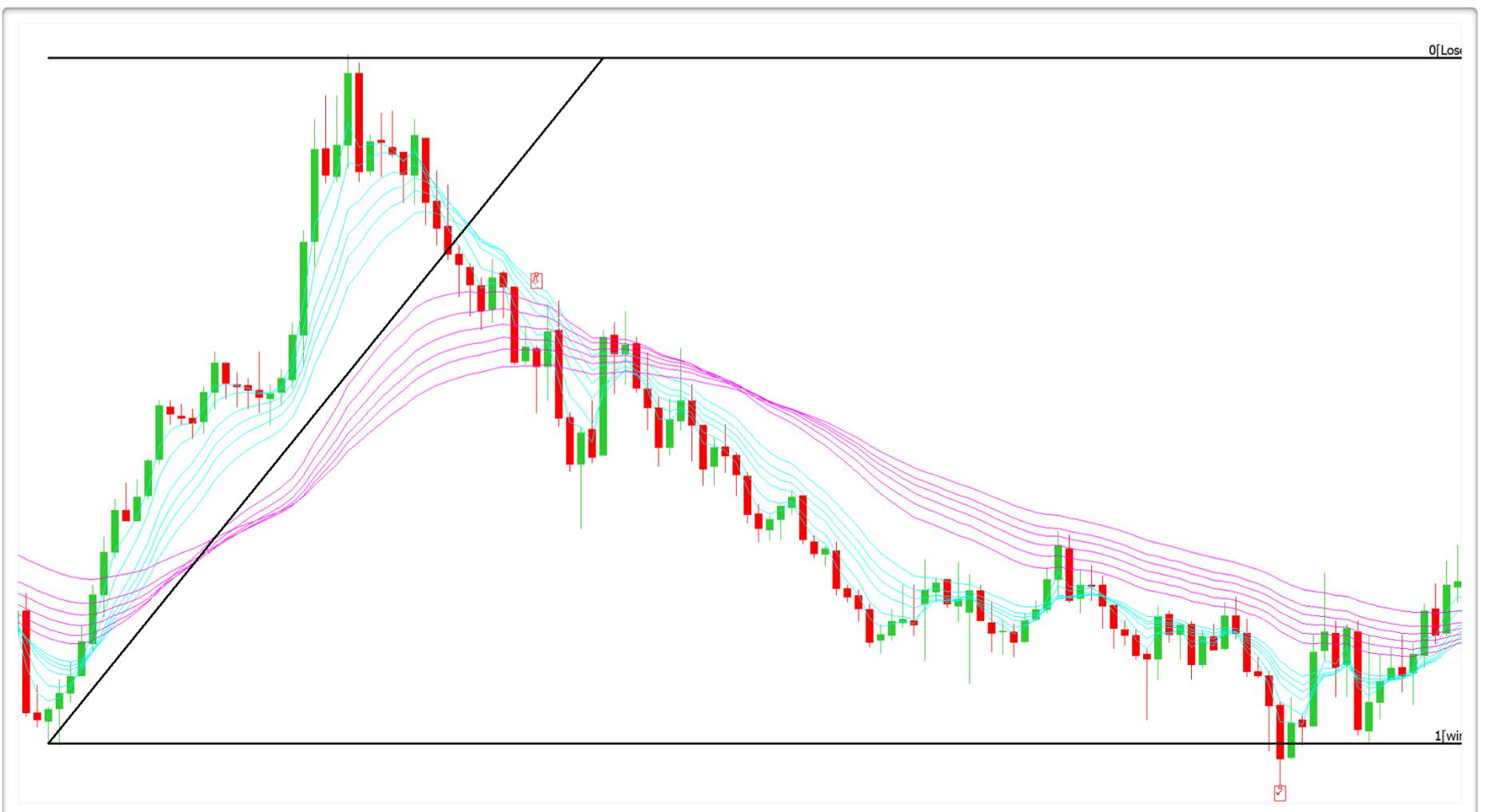
利確幅が約96pips 損切り幅約44pips  
リスクリワードが  
1 : 2以上とで綺麗なポイント

# 事例2

ショートのエントリーポイント  
EUR/JPY 15分間足 2021年9月10日～13日



## 拡大版



## 急騰→戻し確定でエントリー



急騰の起点で利確

事例②

利確幅が約32pips 損切り幅約26pips  
継続的な下降トレンドの確認→急落発生  
→戻りを確定足で確認でエントリー

# 事例3

負けエントリーの事例

USD/JPY 15分足 2021年9月1日



## 拡大版





急落→戻し確定で  
エントリー

×  
ロスカット

事例  
③

エントリー後に買いが入らず、レンジになり、ロスカットにかかった。勝ちパターンではエントリー後に短期間で上昇することが多いのに対し、負けパターンでは、エントリー直後にあがらずに、ロスカットに引っかかることが多い

# 事例4

GMMA × レンジ（靴紐シグナル）の事例

USD/JPY 15分足 2021年9月1日



## 拡大版



## ④ GMMMAのレンジ内トレード

靴紐シグナルが出ています。それとあわせてボックスレンジ相場が形成されています。

ボックスレンジ相場では、買われすぎ売られすぎを狙った逆張り手法が有効になりますが、ボックスレンジの中にも、より逆張りに適している相場とそうでない相場が存在します。

レンジ内のトレードというのは、勝率重視でリスクリワードはそれほど高く設定されておらず、1対1以下であることも珍しくありません。

## ④ GMMMAのレンジ内トレード

損切りラインまでが短いからこそ、逆張りトレードの場合、順張りとは比べてもよりエントリーした後の初動で、しつかり伸びているかを重要視することが多くなります。

よって、ボックスレンジでのトレードを行うときには、ボックス内で値動きが活発であることが確認できた方がより高いパフォーマンスを生み出しやすく、活発でない場合に「エントリー後、もみ合いが発生して、思った方向に進まず損切りになってしまった」ということが発生する可能性が高くなります

## ④ GMMMAのレンジ内トレード

レンジ内の値動きの活発さを見極めるための1つの基準として

「明確なサイクルができていないか、できていないか」というものがあります。

サイクルができていない場合には、規則的に買いと売りの攻防が行われていて、安定的なトレードができやすく、サイクルが確認できないというのは、細かいローソク足の連続によってレンジが形成されているので、パフォーマンスが不安定になりがちです。

# 事例5

## 靴紐シグナル×三角持ち合いの事例



## 拡大版



## ⑤ G M M A とレンジブレイク

今回も靴紐シグナルが出ていますが、よくみると三角持ち合いが形成され、ブレイク後にトレンドが出ています。

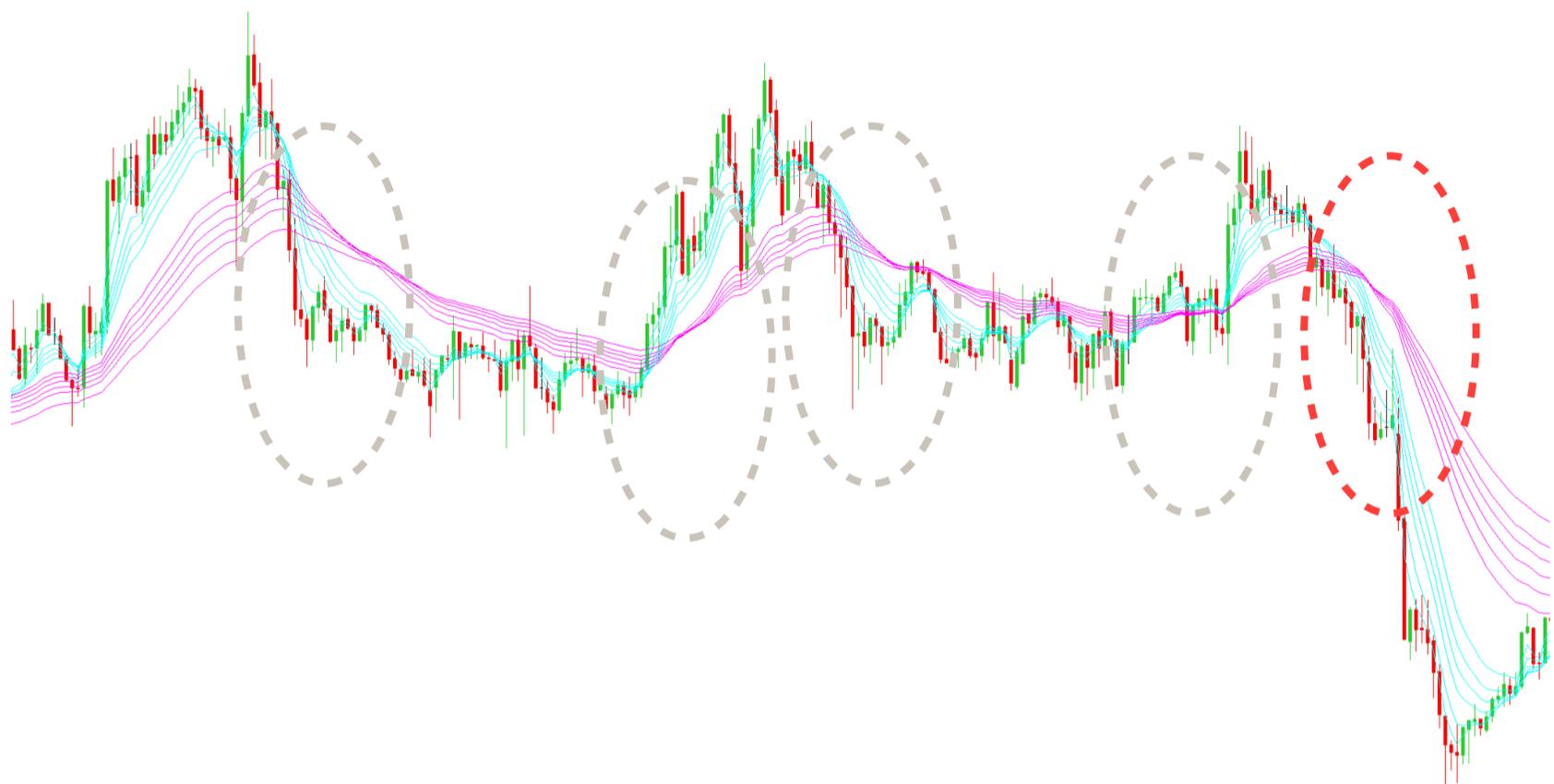
ここをボックスレンジだと勘違いして、むやみに逆張、トレードをおこなおうとすると利小損大になりやすく、ダメシにあってしまいます。

靴紐シグナルが出る場合、当然停滞を表すことが多いわけですが、シグナルがでたからといって、今後もしばらく停滞が長く続いてくれるわけではないのです。

## ⑤ GMMMAとレンジブレイク

靴紐シグナルが出て、レンジトレードを行おうとする場合には「値幅が縮小傾向でないか」「高値が切り下が  
り、安値が切り上がっている三角持ち合いが形成されて  
いないか」の確認をすることが有効です。

また三角持ち合いが確認できた場合には、今回のように三角持ち合いのブレイクをきっかけに短期トレンドが出る場合があるので、靴紐シグナルをみたトレードを行う際には、必ずガンマだけにとらわれないローソク足ベースの相場環境認識も同時に行うようにしましょう。



## 事例⑥

下降トレンドは発生しているが…この時点ではレンジ下でのデッドクロスにすぎない。

デッドクロス後に大きなトレンドが発生するのは間違いないが、単純にゴールデンクロス、デッドクロスをみるだけでは、このように多くのダマシが発生する

## ⑥ G M M A のクロスのだまし

G M M Aに限ったことではありませんが、ゴールデックロス、デッドクロスにしても、大きなトレンドが

「結果論に過ぎないのか」「そのインジケーターが予測できたのか」の区別が必要です。

例えばG M M Aの大きなトレンドができたとします。

その時に、本当に長期G M M Aと短期G M M Aがゴールドエックロスした時点でトレンドの発生は予知できたのでしょうか？

トレードの過去検証をするときは、常に「動いているのチャートでもそれが予測できたのか」というリアルタイム目線を持つ必要があります。

# 第5章

## あとがき



## ちゅういじ

相場は、期待値に乗ったトレードを行い続けることさえできれば勝ち続けることができるシンプルな世界です。

今あなたが何者であろうと

これまでどんなトレードをしてこようと  
あなたがどんな感情でトレードしようと  
何も関係ない。

数字だけがすべてであり、絶対です。

何も縛られない相場の世界で、あなたが  
ご躍進してただけを心より願っております。

## 筆者紹介

サイキックス（斉木勇一）

論理的アプローチを得意とする個人投資家。

現職プログラマーでもあり、筆者運営サイト「サイキックスの気絶級バイナリー」では「すべての人に世界トップレベルのインジケーターを。」をビジョンに掲げ、初心者でも上級者でも使える、膨大な数の自社開発インジケーターを無償提供している。著書に「ロジカルトレーディング」【Profit Quadrant】（全文英語）など。

IB2N5-239-94823-X

C0094 ¥1200E

定価（税込4980円）

